

令和3年10月15日

保護者各位

鳥栖市立鳥栖西中学校
校長 嘉村 和久

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について（お知らせ）

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果が文部科学省から公表されましたので、その結果をもとに本校の結果について分析をしました。結果の概要についてお知らせします。

なお、以下に示す内容は学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを御理解くださいますようお願いいたします。

1 令和3年度全国学力・学習状況調査について

令和3年5月27日、下記のような内容で全国一斉に中学校3年生を対象として実施されました。調査内容は、次のとおりです。

(1) 教科に関する調査（国語、数学）
※平成31年度(令和元年度)より、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に調査されています。
(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
※学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関して調査されています。

2 教科に関する調査結果から全国平均正答率と比較して見える本校生徒の姿

(1) 国語について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・5つの観点のうち、4つの観点については、全国の平均正答率を下回っていました。しかし、「言語についての知識・理解・技能」については、全国の平均正答率と同程度でした。
- ・相手や場に応じて敬語を適切に使う問題や、伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く問題では、全国の平均正答率を大きく上回っており、定着がうかがえました。

(2) 数学について

- ・全体の平均正答率は、全国の平均正答率を大きく下回っていました。
- ・3つの観点すべてにおいて、全国の平均正答率を下回っていました。
- ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題や、相対度数の必要性と意味を理解しているかを確かめる問題では、全国の平均正答率を上回っており、定着がうかがえました。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査結果から見える本校児童の姿

主な項目について、全国との比較は次のとおりです。

番号	項目	本校(%)	全国(%)
1	自分には、よいところがあると思いますか。	71.8	76.2
2	将来の夢や目標を持っていますか。	76.4	68.6
3	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	57.5	43.8
4	朝食を毎日食べていますか。	96.9	92.8
5	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	85.1	79.8

6	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	95.4	92.7
7	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	97.4	95.9
8	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	79.0	74.7
9	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） ※2時間以上と答えた生徒の割合	35.4	41.8
10	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） ※2時間以上と答えた生徒の割合	23.0	26.8
11	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、 （1）勉強について不安を感じましたか。 （2）計画的に学習を続けることができましたか。 （3）規則正しい生活を送っていましたか。	61.1	62.8
		32.3	37.6
		51.8	48.4

- ・ 1番～3番から、自分の将来に夢や目標をもち、地域や社会に貢献しようとしているものの、自尊感情がやや低い傾向がうかがえます。
- ・ 4番～6番から、起床や就寝、朝食の摂取状況など、全国の割合を上回っており、基本的な生活習慣が確立している様子がうかがえます。
- ・ 7番、8番から、違いを受け入れていじめを許さないという生徒の割合が、全国の割合を上回っていることが分かります。
- ・ 9番、10番から、家庭で2時間以上学習している生徒の割合が、全国の割合を大きく下まわっていることが分かります。
- ・ 11番から、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学校の休校が、多くの生徒に大きな影響を与えていたことがうかがえます。

4 今後の改善策（生徒の力をさらに伸ばすために）

- ・ すべての教科で、知識・技能の習得と教科の特質に応じた思考力・判断力・表現力の育成をめざした授業改善に努めます。
- ・ 3年生では放課後の時間に、週に2回、外部講師による英語と数学の補習授業を行い、基礎・基本の定着に力を入れます。
- ・ 1時間の授業の流れを統一し、電子黒板やタブレット PC などの ICT 機器の利活用を図り、授業のユニバーサルデザイン化に取り組みます。
- ・ 各教科の授業では、自らの学習を振り返り学びを整理する活動を積極的に取り入れ、授業の充実を図っていきます。

その他に、ご家庭でも次のようなことに心がけてください。

- 1. 土日を含め、家庭での学習時間の確保に取り組みましょう。**
◎学習する時間帯、場所と内容を自分で決め、机につく学習習慣を身に付けさせましょう。
◎SNSやインターネットなどを利用する時間は、親子で利用時間を決め、守らせましょう。
- 2. お子さんとのコミュニケーションの時間をもちましょう。**
◎学校での出来事や読んでいる本の内容等、お子さんと話をしましょう。
- 3. がんばっていることやよくできたことを認めて、お子さんの自尊感情を高めましょう。**
◎お子さんの努力やがんばりを具体的に認め、励ますことで、やる気を育てましょう。

